

家庭の防災対策を再点検しよう！

家庭の防災会議を開こう

災害が起きたとき慌てずに行動できるように、家族の役割分担や連絡方法などを事前に話し合い確認しましょう。

確認事項

- ・火の始末など、災害時の役割を決める
- ・家の中の安全な場所、危険な場所をチェック
- ・家具の配置替えて安全な場所を確保

所を確保

・備蓄品、非常持ち出し品の確認と持ち出し役の決定
・避難場所、避難経路の確認
・家族との連絡方法を定める（災害用伝言ダイヤルなど）

建築物の耐震化を

過去の大地震では、家屋の倒壊により多くの人命が失われてきました。市では昭和56年5月以前に建設された木造

住宅の耐震診断費用の助成などを行っています（詳細は、建設課都市住宅係 ☎2219）。

家の中を安全に

地震でのけがは、大半が家具や電化製品、照明器具などの転倒や落下によるものです。壁などへ固定する、高い所へ物を置かないなどの防止策を取りましょう。

建物や土地をチェック

建物の構造、地盤の強弱や周囲の地形などから地震による被害を想定することも大切です。

非常持出品を準備

持出品が多過ぎると、避難しづらくなります。目安は男性で15kg、女性では10kgまで。非常時に慌てないように、日頃からチェックリストなどを作って準備しましょう（左表）。

防災訓練へ参加を

自主防災組織など地域で実施される訓練に積極的に参加し、災害時の行動を体得しましょう。

問合せ先

市民課防災係 ☎2215

災害用チェックリスト

避難するときに持っていくもの

貴重品

- 現金（小銭も）
- 印鑑
- 保険証
- 預金通帳や有価証券の写し
- 身分を証明できるもの



衣類・洗面道具類

- 下着類
- くつ下
- セーター類
- タオル
- せっけん
- 歯みがき用品
- 紙おむつ
- 生理用品



小道具類

- 防災ずきん・ヘルメット
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 乾電池
- 軍手
- ライター・マッチ
- 栓抜き・缶切り
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 使い捨てカイロ
- 筆記用具
- 雨具
- 救急セット（常備薬も）



水・食料品

- 飲料水
- 非常食
- 飲料用ポリタンク



3日分を目安に備蓄しておくもの

懐中電灯（できれば1人1個・予備の電池も）、ろうそく、食料、ビニール袋、固形燃料、簡易ガスコンロ、1人1日3ℓの飲料水、ペット用の餌や水
被害が大きいと、行政機関による救援活動も難しくなります。公的支援が受けられるまでのおおむね3日間は、自力で避難生活が送れるよう、あらかじめ準備しておきましょう。

今年度から新たに第5次行財政改革に取り組みます

第5次下田市行財政改革大綱を策定しました

これまでに取り組んできた行財政改革の結果、市の財政状況に明るい兆しが見えてきました。しかし今後も必要不可欠な事業が山積しており、多額の公費が必要となってきます。このため、決して楽観できる財政状況ではないとの危機意識を引き続きもって、第5次下田市行財政改革大綱とその実施計画を平成23年3月に策定しました。

第5次行革の取組期間は5年間 平成23年度～平成27年度まで

※第4次下田市総合計画の中間年としました。

第5次行革の基本姿勢

次の3つを基本姿勢の骨子として改革を推進することとしました。

- 姿勢1 集中改革プランの検証結果を踏まえる
- 姿勢2 第4次総合計画を推進する
- 姿勢3 地域主権改革に対応する



第5次行革の進め方

改革を着実に進めていくため、市長はじめ課長も出席する下田市経営戦略会議で下記の重点事項の進捗管理を行うほか、シートを使用して各課で年度ごとにチェックを行います。また、必要に応じ、進捗状況の公表も行うこととします。

第5次行革の重点事項

策定現在、取り組むべき改革項目は68あります。この中で、特に力を注いで取り組む項目を重点事項として8つ位置づけました。
①行政評価システムの構築 ②補助金支出の適正化 ③ごみ処理業務のあり方 ④新庁舎建設 ⑤給食センター建設 ⑥幼保再編整備 ⑦小中学校の再編整備 ⑧公民館の統廃合



第5次行革大綱策定の背景にあるもの

策定にあたり、次の社会的な潮流や国の動向などを背景として踏まえることにより、行財政改革がなぜ必要となるのかをあらためて整理しました。

- ①少子高齢社会と人口減少の波
- ②国による地域主権改革の動き
- ③求められる計画性と規律ある行財政運営



第5次行革の基本理念

第4次総合計画の基本目標である持続可能なまちづくりを目指して、次のとおり設定しました。



時代の変化に対応し、明るい未来の礎を築く

第5次行革の目指すものと改革の柱

第5次行革で目指すものを指針として3つに分類し、さらに、それぞれの指針を具現化したものを改革の柱として設定しました。

これ、目指します! 1

財政の健全度をより確かなものにします

- 改革の柱1 経費の節減
- 改革の柱2 給与の適正化



これ、目指します! 2

行政の信頼性・透明性の更なる向上に努めます

- 改革の柱1 市民参画機会の拡大
- 改革の柱2 人材育成
- 改革の柱3 透明性の確保



これ、目指します! 3

計画的で効率的な行財政運営を行います

- 改革の柱1 定員管理・組織機構の適正化
- 改革の柱2 施設運営の効率化
- 改革の柱3 市民サービスメニューの見直し